

令和3年度 看護師職能委員会 看護師職能I交流会 開催報告

研修名：『COVID-19を正しく理解する～入院からその後の生活を考える』

日時：令和3年9月12日（日曜日）9:00～12:00

場所：徳島県看護協会 大研修室

参加者数：会場参加 6名、Zoom参加 70台（84名）

今、私達看護職は様々な場面でCOVID-19の患者さんと関わります。その中でCOVID-19を正しく理解し、正しく恐れ、感染を予防する事も重要な役割です。

看護師職能委員会では、感染者の治療や看護に数多く携わっている徳島県立三好病院の住友正幸院長と同院コロナ病棟を担当する小崎直美師長を講師に迎え、徳島県における治療や療養をはじめ、感染患者にかかわる環境要因まで幅広く情報提供頂きました。実際の現場が感じる不安や負担はもちろんです、厳しい環境にあっても、それぞれの患者さんに向き合い最善のサポートをする姿勢やチーム力には感銘しました。

これから未だ先が見えないCOVID-19です。我われは医療従事者としてできることは、しっかりと現実に向き合い患者の気持ちに沿えるよう、経過の段階に沿って、広く地域の連携を図る必要性を感じました。

今後も看護師職能委員会では医療・看護・介護・福祉とあらゆる場面で必要な情報が共有できるよう交流会を開催したいと考えています。多くの皆様の参加をお待ちしています。

